

3-7 メモ・アナウンスの記録・再生

メモアナウンスとして音声を記録する場合に使用します。メモ・アナウンスはMR-30の場合には CH 7に,MR-10 の場合には CH 4 に記録されます。

3-7-1 メモ・アナウンスの記録

- 1) ③⑥ MEMO IN ジャックに付属のマイクロホン差し込みます。
- 2) CH 7 (CH 4) DATA / MEMO を MEMO に設定します。
- 3) ⑤ FWD と ⑦ REC を同時に押します。
- 4) メモ・アナウンスの記録はマイクロホンのプレススイッチを押した時のみメモが記録され、他の場合には無信号が記録されますがデータの記録はできません。メモ・アナウンスが入力されている場合には ③⑥ MEMO IN の LED が点灯します。

注意) メモ・アナウンスはメータによるモニターはできません。

3-7-2 メモ・アナウンスの再生

- 1) CH 7 (CH 4) DATA / MEMO を MEMO に設定します。
- 2) ⑤ FWD スイッチを押します。
- 3) ③⑧ SP LEVEL にて音量の調整を行います。
- 4) ③⑦ MEMO OUT に付属のイヤホン差し込みます。差し込むとメモ・アナウンス信号はイヤホンから出力されスピーカは OFF になります。

注意 1) ③⑦ MEMO OUT はイヤホン専用ジャックです。

イヤホン以外の測定器等を接続することは避けて下さい。

- 2) 1.2 cm のメモ再生時は 4 CH (MR-10)、7 CH (MR-30) のバーメータがランダムに点灯しますが異常ではありません。

3-7-3 メモアナウンスの記録、再生方式の選択

メモアナウンスの記録、再生方式は従来機等との互換性、及び明瞭度を良くするため

REV.

E.C.N.

No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

30 頁

葉中

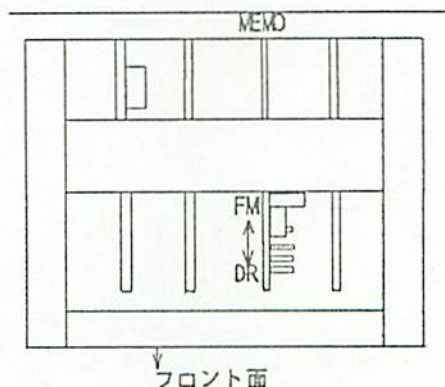
に、FMまたはDRの記録、再生方式の選択が可能です。

この切換えスイッチはレコード内部にあります。まず、レコードのカバーを止めている上部の2本のネジと裏面部の6本のネジをプラスドライバーで外し、カバーを取外して下さい。装置中央部にMEMOと表示されたプリント基板があり、その上部にDR、FMと印刷されたスイッチがあります。このスイッチを下記の仕様に従って切換えて下さい。

- 1) TEAC R-81 (R-80、R-60/61) で記録したテープをMR-30 (MR-10 FM INTER BAND 仕様) で再生する場合は、このスイッチをFMにして下さい。
- 2) TEAC MR-30 (MR-10 FM INTER BAND 仕様) で記録したテープをR-81 (R-80、R-60/61) で再生する場合は、このスイッチをFMにして下さい。
- 3) MR-30 (MR-10) のみで記録、再生する場合、あるいは、再生信号の明瞭度を良くしたい場合には、このスイッチをDRにして下さい。

注意) (1) 工場出荷時には、本スイッチはDR方式にセットされています。

- (2) CH-7 (4) をDR記録のメモトラックとして使用する場合は、CH-7 (4) アンプパネル上のREC ON/OFFスイッチは無効となり、マイクロホンのプレススイッチのON/OFFのみにてMEMO記録がコントロールされます。すなわち、プレススイッチがONになると、CH-7 (4) には、RECスイッチの位置とは無関係に、常にMEMO記録がなされます。



REV.

E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

31 頁

葉中

3-8 ノイズ補償の記録・再生

ノイズ補償は、データレコーダを振動環境下で使用したり、データレコーダより発生する低域部のノイズがデータ測定に支障を来すような場合にデータのS/Nを改善する機能であり、MR-30の場合にはCH 4、MR-10の場合にはCH 3を、それぞれ使用します。

3-8-1 ノイズ補償の記録

- 1) ⑩ CH 4 (CH 3) DATA/COMPスイッチをCOMPにセットします。
- 2) ⑤ FWDと⑦ RECを同時に押します。
- 3) CH 4 (MR-30)、CH 3 (MR-10) をノイズ補償に使用した場合には、このチャンネルにはデータ記録は出来ません。

3-8-2 ノイズ補償の再生

- ⑩ CH 4 (CH 3) DATA/COMPスイッチをCOMPにセットします。

この状態でデータの再生を行うと、前述の条件にて、他のチャンネルはS/Nの改善されたデータ出力が得られます。

注意) 再生時にノイズ補償を行う為には、⑩ スイッチは、記録時に必ずCOMP側にセットされていなければなりません。

3-9 モニター

⑪ CH SELECTORにて選択されたチャンネルのモニターは、⑬ MONITOR端子及び ⑬ レベルメータにて行います。各チャンネルのレベルは、⑫ バーメータにてモニター出来ます。

REV.

E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

32 頁

葉中

主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5



主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

主頁・第5の第1スト、 1-5
主頁・第5の第1スト、 1-5

3-9-1 入出力信号モニター

モニター出力は SOURCE / OUT スイッチ及びデータレコードの動作モードにより第2表のようになります。

SOURCE/OUT 動作モード	MONITOR 端子		OUTPUT 端子	
	SOURCE	OUT	SOURCE	OUT
STOP	入力信号	入力信号 (Z-VR, L-VR)	入力信号 (Z-VR, L-VR)	入力信号 (Z-VR, L-VR)
REW. F-FWD	0 V	0 V (Z-VR, L-VR)	0 V (Z-VR, L-VR)	0 V (Z-VR, L-VR)
FWD (再生) (カセット有)	テープに記録された 信号	テープに記録された 信号 (Z-VR, L-VR)	テープに記録された 信号 (Z-VR, L-VR)	テープに記録された 信号 (Z-VR, L-VR)
FWD (再生) (カセット無)	0 V	0 V (Z-VR, L-VR)	0 V (Z-VR, L-VR)	0 V (Z-VR, L-VR)
REC	入力信号	入力信号 (Z-VR, L-VR)	入力信号 (Z-VR, L-VR)	入力信号 (Z-VR, L-VR)

第 2 表

L - VR : 記録・再生増巾器の LEVEL ポテンショメータに依って出力信号は調整できます。

Z - VR : 記録・再生増巾器の ZERO ポテンショメータに依って出力信号は調整できます。

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

33 頁

葉中



3-9-2 校正電圧について

MR-10 / 30 は記録・再生動作におけるゲイン及び零点の校正を目的として、直流校正電圧と交流校正電圧を内蔵しており、②① ②② ②③ ②④ CALIBRATION スイッチにより入力されます。直流校正電圧はゲイン校正を目的とする ②③ 「+ 100 %」、②① 「- 100 %」及び零点の校正を目的とする ②② 「0 (V)」があります。

1) ②③ 「+ 100 %」、②① 「- 100 %」

②③ 「+ 100 %」(②① 「- 100 %」) 校正電圧は FM 記録増巾器の入力オフセットボリュームに関係なく入力アッテネータの設定電圧に相当する正電圧(負電圧)となります。例えば、入力アッテネータを 10 V に設定した時の ②③ 「+ 100 %」校正電圧は DATA 入力の + 10 V (但し、入力オフセットは零ボルトとした時)に相当します。

2) ②② 「0 (V)」

②② 「0 (V)」校正電圧は DATA 入力を短絡したときに相当します。この場合入力オフセット機能は有効となり ②② 「0 (V)」校正電圧の記録・再生データは入力オフセット値を示します。(但し、出力オフセットは零ボルトとした時)

3) ②④ AC (0 db)

②④ AC (0 db) 校正電圧は FM 記録増巾器の入力オフセットボリュームに関係なく入力アッテネータの設定電圧に相当する正弦波(約 500 Hz)となります。

REV.

E.C.N.
No.

承認

検図

担当

..

..

..

ティアック株式会社

図面番号

A

34 頁

葉中

3-8-2 改正証に於て

RE-10 \ 30 は別紙・別出動に於ける「改正証」の改正証に於て、

改正証と交換証を別紙として、① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜 㿝 㿞 㿟 㿠 㿡 㿢 㿣 㿤 㿥 㿦 㿧 㿨 㿩 㿪 㿫 㿬 㿭 㿮 㿯 㿰 㿱 㿲 㿳 㿴 㿵 㿶 㿷 㿸 㿹 㿺 㿻 㿼 㿽 㿾 㿿

3-9-3 パーメータに依るレベルモニター

各信号のレベルは ③③ レベルメータにてモニターできますが全チャネル同時には ③② パーメータにて入出力の信号レベルをモニターすることが出来ます。

レベルは ③⑤ SOURCE / OUT スイッチに関係なく全て (3-9-1) 入出力信号モニター第2表に於ける SOURCE 状態の信号レベルがモニター出来ます。

各表示 LED の電圧レベルは図 - 12 に示す通りです。

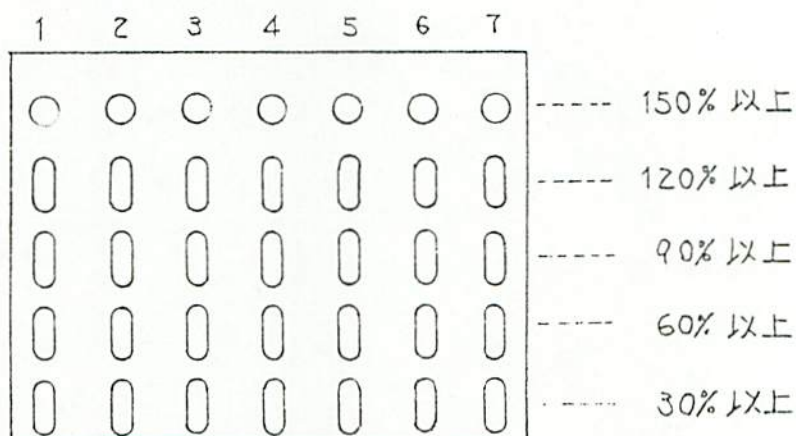


図 - 12 パーメータ表示レベル

3-10 リモート / GP - IB

MR-30, MR-10 には ⑤⑧ リモートコネクターが装備されていますので ER-85 リモコンユニット等 (オプション) を使用して外部コントロールが可能です。

リモコンユニットを使用せずに外部装置と接続する場合には 「リモート制御」,

「GP-IB 制御」 仕様書を参照下さい。

3-11 テープトランスポートコントロール用釦 ③④⑤⑥⑦ の動作についてある

動作から STOP を経由して、他の動作を指令する時は約 2 秒の STOP 時間を置いた後に次の動作指令をして下さい。

この時間が短かいと、テープ巻込み防止回路が働いて次の動作指令をしても

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

35 頁

葉中

STOP 動作になることがあります。

例) (REC) FWD — STOP — (REC) FWD

約 2 秒間の停止時間を置く

3-12 FWD 又は、REC FWD 時のリーダーテープ走行速度

FWD 又は REC FWD 時のリーダーテープ（カセットテープの巻始めと巻終り部についている半透明のテープ部で、この部分には記録はできません。）部の走行は、テープ速度選択釦位置（テープ速度表示 LED ）にかかわらず走行性安定のために、自動的に 9.5 cm/sec となります。

従って、FWD 又は REC FWD 時、リーダーテープ部走行速度は、テープ速度表示 LED の速度と一致していませんが、磁気テープ部をヘッドが通過する瞬間に、テープ速度表示 LED と同速度になりますので、再生及び記録動作に対して何等影響ありません。尚、磁気テープ部より FWD 又は REC FWD をする場合は、当初よりテープ速度表示 LED と同速度で走行します。

REV.
ECN.
No.

承認

検図

担当

..

..

..

ティアック株式会社

図面番号

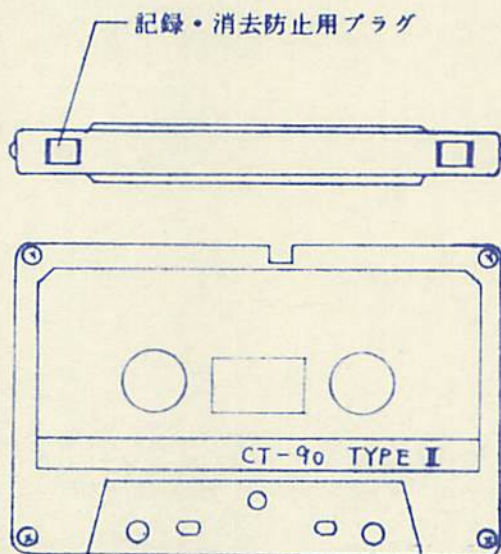
A

36 頁

葉中

3-13 誤消去、誤記録の防止方法

MR-10/30 に使用している CT-90 TYPE II コンパクト型カセットテープは、下図の場所に誤消去、誤記録防止用のプラグがついていますのでこれを取り除くとそのテープは記録、及び消去ができなくなりますので、記録テープを消す必要のない場合はこの爪を取り除いておくると便利です。



3-14 テープ走行部のクリーニング

正しくデータを記録・再生していただくために、少なくともテープ 20 バスに 1 回程度は次の要領にて、テープ走行面の清掃を付属の TZ-350 クリーナキットで行って下さい。

注) 消毒用アルコール、ベンジン、シンナー等は使用しないで下さい。

- 9 EJECT レバーを押してカセット・ホルダ部を開く。
- カセットホルダ部内側上部のロックプレートを左側に押して、蓋を手前に引く。

開いた蓋の部分を上部に持ち上げて蓋のみを外す。(図 -13)

REV.
ECN.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

37 頁

葉中

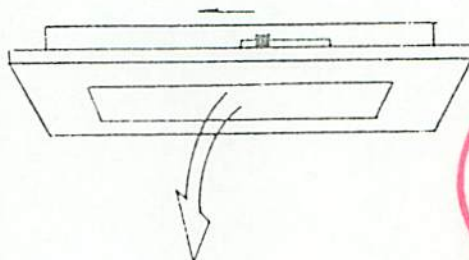
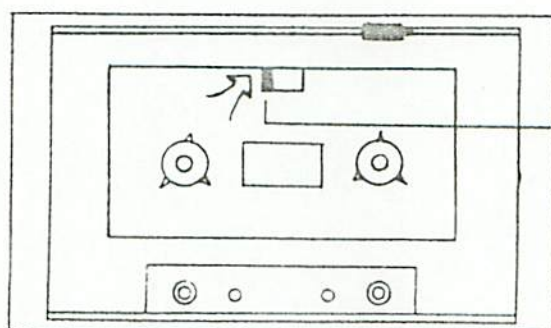


図-13 カセットホルダ蓋の取り外し

- 蓋を外したままカセットホルダを閉めて、図-14 のシステムスイッチレバーを指で押し込みます。

システムスイッチレバーを押し込むことにより、テープ装着状態となり、REW、F.FWD、FWD（テープ速度は自動的に 9.5 cm/sec になります。）等がコントロールできる様になります。



システムスイッチレバー

図-14 システムスイッチレバー

- 図-15 の記録・再生ヘッド、消去ヘッド、ガイド、キャプスタン・シャフトピンチローラのテープ走行面をクリーニング液を付けた綿棒で汚れのなくなるまで拭く。

この時ピンチローラ及びキャプスタン・シャフトは電源スイッチ ON、FWD 状態で

図-15 の×印に綿棒を当てて拭けば、掃除が楽で確実です。

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

38 頁

葉中



図一は、カネイシエの家の断面図

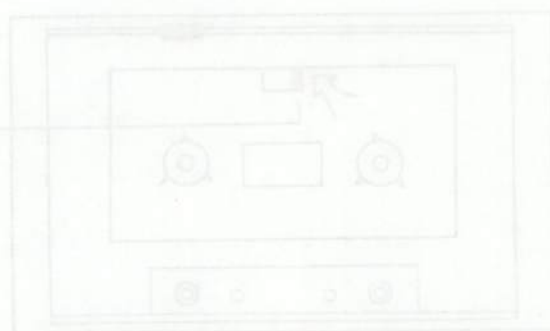
○ 家の設計はカネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

カネイシエの家

カネイシエの家は、カネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

カネイシエの家

カネイシエの家



図一は、カネイシエの家の断面図

○ 家の設計はカネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

カネイシエの家は、カネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

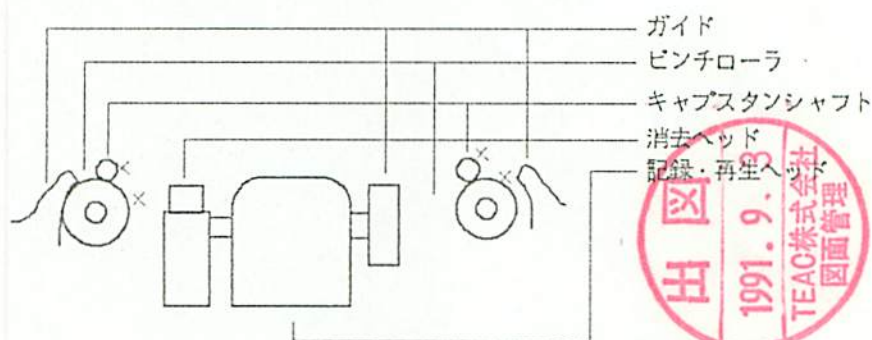
カネイシエの家は、カネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

カネイシエの家は、カネイシエの設計で、図一は、カネイシエの家の断面図

社会生活OAPT

社会生活OAPT

社会生活OAPT



(ピンチローラ圧着状態)

× 綿棒を当てる所

図-15 清掃部

- 注 1) 綿棒がピンチローラとキャプスタン・シャフトの間に巻き込まれないように注意して拭いて下さい。
- 注 2) テープ走行各部が磁性粉などで汚れると、再生出力にノイズやドロップアウト、若しくは出力不良を生じ、ひどい場合にはテープに傷を付けてしまったり、テープを巻き込んだりすること考えられます。保守は、テープを走行させる前に必ず行って下さい。
- 注 3) 磁性粉や埃等をテープ走行面に付けたまま長時間放置しておく、クリーニング液を使用しても汚れが取れ難くなり、ドロップアウト、メモ不良、S/N不良、テープ走行不良等の原因になるので、忘れずに清掃して下さい。

3-15 記録・再生ヘッドの消磁

データレコーダを長時間使用すると、ヘッドが僅かながら帯磁することがあります。また、磁気を帯びた金属がヘッドに接触した場合にも、ヘッドは帯磁します。ヘッドが帯磁すると、レベル変動が多くなったり、S/Nが悪化したり、大切なテープに雑音が入ったりします。

この有害な帯磁磁気を取り除くため、最低50時間に1回程度、あるいは、大切な録音をする事前に、消磁されることをお勧めします。

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

39 頁

葉中

消磁をする箇所は、消去、録音/再生ヘッドとテープが接触するキャプスタン等の金属部分です。

尚、消磁の際には、記録テープ等はヘッド・イレーサに近付けないで下さい。

1. データレコーダの【POWER】スイッチを【OFF】にします。
2. 清掃の場合と同様に、ヘッドを見えるようにします。
3. ヘッドイレーサの電源を入れ、ヘッド前面に近付けてテープ走行方向と直角に4～5回ゆっくり往復させます。
4. 同様に他の部分の消磁を行った後に、ヘッドイレーサをヘッドからゆっくりと遠ざけていきます。
5. ヘッドから30 cm以上離れたところで、ヘッド・イレーサの電源を切ります。

3-16. MR-10/30 と R-80/81 との テープの互換性

MR-10/30 で記録したテープを R-80/81 等で再生する場合（互換性は1頁目の互換表参照）は、記録・再生増幅器の (41) REC ON/OFF スイッチは、以下に従って操作して下さい。

R-81 で再生する場合は、R-81 の第4チャンネルに該当する記録機のチャンネル、即ち、MR-30 の第4チャンネルのスイッチを ON。

R-80 で再生する場合は、R-80 の第3チャンネルに該当する記録機のチャンネル、即ち、MR-10 の第3チャンネルのスイッチを ON にして記録をして下さい。

もし、(41) スイッチを OFF にして記録を行い、そのテープをそれぞれ R-80、又は、R-81 にてテープを再生させますと、再生機の キャリアデテクタが働き、全チャンネルのテープの出力が出なくなります。

REV.
E.C.N.
No.

承認
検図
担当

ティアック株式会社

図面番号

A

40 頁

葉中

4. 仕様

記録・再生方式

FM WIDE BAND グループ I (MR-10/30)

FM INTER BAND (MR-10) (オフチューン)

DR INTER BAND (オフチューン)

使用磁気テープ

TEAC 指定カセットテープ CT-90 Type II

トラック数

MR-10 : 4

MR-30 : 7

チャンネル構成

CH	MR-10	MR-30
1	データ	データ
2	データ	データ
3	データ/ノイズ補償	データ
4	データ/メモアナウンス	データ/ノイズ補償
5	*	データ
6	*	データ
7	*	データ/メモアナウンス

注意) ノイズ補償及びメモアナウンスとデータとは、スイッチにより切換えて使用します。

ヘッド構成

記録・再生兼用ヘッド

消去ヘッド

コントロール

トランスポートコントロール、テープ速度選択

共、押釦スイッチにより選択

テープ速度

6 速度

38.10 cm/sec (15 ips)

19.05 cm/sec (7 1/2 ips)

9.52 cm/sec (3 3/4 ips)

REV.

E.C.N.

No.

承認

検図

担当

..

..

..

ティアック株式会社

図面番号

A

41 頁

葉中

	4.76 cm/sec (1 7/8 ips)
	2.38 cm/sec (15/16 ips)
	1.19 cm/sec (15/32 ips)
テープ速度偏差	± 0.3% 以下
フラッタ (標準テープ再生法)	38.10 cm/sec 0.40%p-p (0.2~5 KHz)
	19.05 cm/sec 0.55%p-p (0.2~2.5 KHz)
	9.52 cm/sec 0.55%p-p (0.2~1.25 KHz)
	4.76 cm/sec 0.65%p-p (0.2~0.625 KHz)
	2.38 cm/sec 0.65%p-p (0.2~0.313 KHz)
	1.19 cm/sec 1.0 %p-p (0.2~0.156 KHz)
スタート・ストップ時間	2 秒以内 (正常定速走行)
早送り・巻戻し時間	120 秒以内 (CT-90 Type II 型テープにて)
入力インピーダンス	1 MΩ 不平衡
入力電圧	±0.2, ±0.5, ±1, ±2, ±5, ±10 Vp
	6 段 ATT 方式
出力インピーダンス	100Ω 以下
出力電圧	0 ~ ±2 Vp
出力電流	10 mA (20 Ω 負荷)
入出力零レベルシフト	入力 ±100% シフト可能
	出力 ± 10% シフト可能

REV.

ECN.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

42 頁

葉中

周波数特性および S/N

(FM 方式)

テープ速度 (cm/sec)	周 波 数 特 性 +0.5, -1.0db		S/N比db(rms)
38.10	DC ~ 10 KHz	(DC ~ 5 KHz)	50 db
19.05	DC ~ 5 KHz	(DC ~ 2.5 KHz)	50 db
9.52	DC ~ 2.5 KHz	(DC ~ 1.25KHz)	50 db
4.76	DC ~ 1.25KHz	(DC ~ 625 Hz)	48 db
2.38	DC ~ 625 Hz	(DC ~ 313 Hz)	48 db
1.19	DC ~ 313 Hz	(DC ~ 156 Hz)	45 db

注 1) S/N はノイズ補償 ON の場合

2) () 内は MR-10 FM INTER BAND 仕様の場合

高調波歪	1 % 以下
クロストーク	規定ノイズレベル以下
DC 直線性	±0.5% 以下 (規定レベル内)
零ドリフト	±0.5% 以下 (ヒートラン 30 分後)
周囲温度・湿度	0℃~40℃ 20%~80% RH
使用状態	垂直
電 源	DC 11 ~ 30 V 約 2.5 A (DC 12 V) AC 90 ~ 130 V 50 ~ 440 Hz AC 190 ~ 250 V 50 ~ 440 Hz
	注) 各電源はバック交換に依る。
外形寸法	約 150(H) x 430(W) x 240(D) (突起物は含まず)
重 量	約 11.5 Kg (MR-30) 約 11 Kg (MR-10)

REV.
ECN.
No.承認
検図
担当. .
. .
. .

ティアック株式会社

図面番号

A

43 頁

葉中

5. 標準付属品・予備品

カセットテープ	CT-90 TYPE II	1
入出力ケーブル		9 (MR-10)
		15 (MR-30)
電源コード		1
マイクロホン		1
イヤホン		1
ヒューズ		1
小型ドライバー		1
ドライバーサポート		1
クリーナキット		1
ラベル		1
ビニールカバー		1
アクセサリケース		1
アクセサリリスト		1
取扱説明書		2

REV.
E.C.N. No.

承認

検図

担当

..

..

..

ティアック株式会社

図面番号

A

44 頁

葉中